



会報

No.31

平成 25 年 3 月 1 日

桑高同窓会



【平成 25 年 3 月 卒業生】

		男	女	計
全 日 制	普 通 科	1 5 6	1 6 1	3 1 7
	理 数 科	1 7	2 3	4 0
	衛生看護科 (本科)	0	3 8	3 8
	衛生看護専攻科	1	4 0	4 1
定 時 制	普 通 科	4	5	9
	合 計	1 7 8	2 6 7	4 4 5

御挨拶

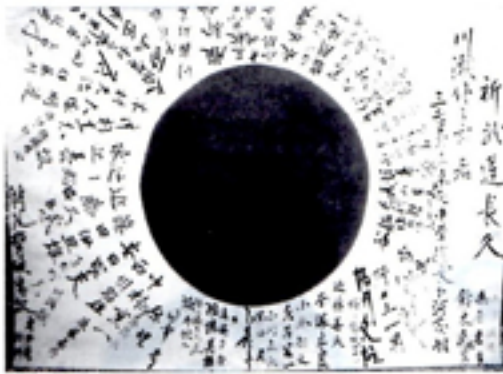


桑高同窓会会長

西羽 晃

(全日制七回生)

桑高百周年の記念誌「桑高百年」の編集のため、資料提供を呼びかけたところ、いなべ市北勢町麻生田の小川正直さんから、叔父の川瀬作三郎さんの出征にあたり寄せ書きをした日章旗(写真参照)が桑高に寄贈された。その日章旗には桑名中学校長下河茂嗣と共に同級生の署名がある。川瀬君は桑中の五年生の時に海軍飛行予科練習生に合格した。他にも陸軍少年飛行兵へ桑中生三人が合格したので、川瀬君と共に一九四三(昭和一八)年九月二五日に壮行会が開かれた。この年には桑中生が陸軍士官学校へ六人、海軍兵学校へ四人が合格した。



日本軍の敗色が濃厚になるととも

桑名高校の三本の矢



桑名高等学校長

渡辺 祐治

同窓会の会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は桑名高校の教育推進のためにご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございます。

私こと、昨年の四月に、川本前校長の後任として、上野高校より転任してまいりました。もとより微力ではありますが、伝統ある桑名高校のさらなる発展に全力を尽くす所存でございますので、よろしくお願いいたします。

さて、桑名高校に着任して一年が経ちましたが、桑名高校には「普通科・理数科」、「衛生看護科」、「定時制」という三つの大きな特色があると実感しています。毛利元就の逸話に例えれば、桑名高校の三本の矢として大きな強みになっていきます。

普通科・理数科は、桑名地区の伝統的な進学校としての役割を担っています。生徒はほぼ全員が進学を希望しており、昨年度の卒業生の大学合格者数は、延べ人数で国公立大学が三三四名、私立大学が九二六人という結果でした。今後も百年以上の歴史と伝統をもつ進学校として

の評価をさらに高めるため、学習指導と進路指導を中心とした進学体制を充実させて生徒や保護者の要望に応えていく必要があります。

衛生看護科は、県立学校で唯一の看護師養成の役割を担っている学科です。本科三年と専攻科二年をあわせた五年一貫教育により、看護師の国家試験受験資格が他の看護師養成機関と比べて最短で得られるという大きな特徴を持っています。昨年度の専攻科修了生に対する求人倍率は約一五〇倍であり、生徒は地元や県内の病院を中心に確実に就職することができました。今後も優れた看護技術と豊かな人間性を持ち地域医療に貢献できる看護師の育成を目指す必要があります。

定時制は、さまざまな課題を抱える多様な生徒が学ぶ場としての役割を担っています。定時制には、基礎学力に不安を残す生徒、不登校を経験している生徒、全日制高校から進路変更した生徒、外国籍生徒など多様な生徒が在籍しています。国語、数学、英語の少人数による習熟度別学習や外国籍生徒への日本語の取り

に、兵力を補給するため、生徒の入隊志願者名を提出するように軍隊は各中学の校長へ求めた。一九四三年四月から桑名中学校の校長になっていた下河校長は「適任者なし」との回答を続けていたが、軍隊からの圧力が強くて、ついに志願者を勧誘せざるを得なくなり、川瀬君らの入隊になった。

下河先生は一八九九(明治三二)年に福井藩の士族として生まれ、東京高等師範学校を卒業して、各地の中学校で英語の先生として勤務した。東京府立第二中学校勤務の時には、同僚の米英人教師を自宅に招いて交友していた。日本が米英と戦争するようになって、下河先生は非常に苦悩されたと思われる。

戦後の学制改革で、下河先生は新制の四日市北部中学校や新制の河原田高校・神戸高校・員弁高校の校長となり、一九五二年に員弁高校在職中に病気で逝去された。享年五二歳の若さであった。

(この文は桑高同窓会ホームページ <http://kuwakoob.com> の「徳成随風」に掲載した文からの抜粋です)

出し授業など、生徒が自分の学力や能力に応じて安心して学べる学習環境を提供しています。今後も基礎・基本の学力を定着させるとともに、働きながら学ぶという定時制の特色を生かしたキャリア教育を進める必要があります。

桑名高校では、今後も引き続き、普通科・理数科、衛生看護科、定時制という三本の矢を強みとして、生徒、保護者、地域の方々の期待と信頼に応える学校づくりを進めていきたいと考えています。

最後になりましたが、会員の皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

私が桑名高校の高校生だった頃

桑名高校同窓会 副会長

森田好博

(桑高九回生)



私は桑名高校に昭和二十九年四月に入学し、昭和三十三年三月に卒業しました。その頃の日本は吉田茂内閣の末期でその後鳩山一郎内閣、石橋湛山内閣、そして岸信介内閣と続いて行き、政治的には不安定な時期ではなかったかと思われま

す。社会的にはテレビの民間放送の本放送が開始され、第一回の全日本自動車ショウが開催され、車社会の第

一步が記されました。また一方では水俣病やスモン患者の発生など過度の企業活動による公害問題が社会的に問題を起こすこととなり、解決には相当の時間と犠牲が発生しました。そして、所謂神武景気がスタートし、日本の経済は飛躍的に前進することとなりました。

さて当時の桑高全日制は一学年約四五〇名、普通科二〇〇名、商業科一五〇名、家庭科一〇〇名であった。校舎は今の管理棟付近に中心的な校舎があり、二階が普通科、一階に校長室、職員室そして商業科の教室があり、西側に図書室、その南側に家庭科の教室があり、東の方に商業科の校舎があった。また、メインの校舎の中央から南に向かって渡り廊下があり、そして柔道部などの部室とともにもう一つ校舎があった。

そこには一部普通科の教室もあったように記憶しているが、定時制の教室が中心だったように思われる。そして今と同じように南側に校庭があり、そこで昼休みはソフトボールに興じた記憶がある。勿論そこには運動場であり、体育の授業はそこで行われた。また野球部の練習場でもあった。西の方にはバレーボールとバスケットボールとテニスの練習場があった。ここまでお読みいただくとご理解いただけると思いますが、当時、体育館はありませんでした。しかし、私達の三年生の秋体育館が完成し、文化祭がそこで開催されまし

た。また、卒業式もその体育館で行われました。一学年上級の方以前はどのような卒業式が開催されていたのか、記憶にありません。その点では私たちの学年は感慨深いものがあります。何か取り留めのない桑高時代のことを書きましたが、今年卒業される方々から見れば、理解しがた

いものがあると思われませんが、皆さんの祖父や祖母の時代はこんな時代であったとご想像ください。その時から約五十五年、日本が経済的にも社会的にも、大きく進歩し、発展してきたかははかり知れないものがあります。

脱原発への選択は

定時制部会長

加藤武夫



間もなくあの東日本大震災から2年が経とうとしています。あれだけの酷い震災を受け、加えて放射能の被ばくを受けて、故郷を追われて未だ帰るところも無い人たちが何万人とい

います。そんな中での総選挙は民

主党にがっかりした人たちの票が外に流れるというのは理解ができるにしても、その原発路線を推進してきた自民党に流れて自民党が圧勝するという選挙の結果は、「民意」をと

るのだろうか。私たちが、これまであまりにも電気に対して無関心に使用してきた付

けが回ってきたと思います。その反省の中で節電にも協力して今後とも多少の我慢はしましょう、多少の電

う。今も苦しんでいる人々への思いを新たにしたいと思います。

この程卒業を迎える生徒諸君は、長い人生の中、その時々で選択を迫られる時に沢山出会うでしょう。これからの日本のかじ取りの一端を担っていくこととなる皆さん。今問われている原発問題は難しい選択ですが、大切な選択の一つです。

私たちは孫子の代に、汚染した国土を引き継ぎたくはない。3月を前に私はそんな気持ちで一杯です。

会報に寄せて

岡野 良子

(衛生七回生)



桑名高校同窓会の皆さまには、ますますご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

早いもので、衛生看護科が本校に移って、二度目の卒業式を迎えます。入学は分校で、卒業は本校で迎える皆さまを最後に、これからは、分校のことを知らない卒業生も当然、出てくることを思うと一抹の寂しさを覚えるのも私だけではないと思います。さて、分校のあとには、特別支援学校が移転されたのは、ご承知のところですが、旧分校校舎正門正

面にあった「慈恵」の石碑について、同窓会の方もご存じ無い方がいらっしゃると思いますので、現時点でのご報告を。じつは、支援学校校舎の北側に小さな庭園が出来てそこに、「慈恵」や「白樺」といった石碑が移されています。また、分校があった証しとして、記念碑も新たに増築されています。このことについては、桑名高校ホームページの同窓会オフィシャルサイトに、同窓会会長西羽氏による随想「徳成隋風3」に詳しく書いて下さっていますので、ぜひ、ご覧頂ければ、と思います。

また、同窓会サイトでは、クラスの開催情報などを掲示できるようにもなっています。そろそろ我が同窓生も、節目の年が近づき、集まりたい、との声も出てきています。どうか、衛生看護科・専攻科の同窓生の皆さまも、旧交を温める機会をつくっていかれては、と、思います。最後になりましたが、これからも、心身とも健全で優れた看護サービスを提供できる能力を有する、人間性豊かな看護師を目指す衛生看護科・専攻科の皆さまと卒業生の皆さまのご健勝・ご活躍を祈念しまして、会報のあいさつとさせていただきます。

〔東京支部〕

脱原発への選択は

支部長

綿 引 和 彦



桑名高校同窓会の皆様方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、卒業生の皆さん心からお祝い申し上げます。

さて、まだまだ、余震が続く茨城県であります。そこで神戸・淡路大震災で姉の家が全壊し、後片付けに行った経験と東日本大震災を体験して、感じたことを書いてみたいと思います。

変わりました。

⑥ 大阪では震災の影響がなく、普段どおりの様子にはちよつと驚かされました。

〔東日本大震災〕

① 茨城県内でも、北茨城市で津波が7mに達し、また東海村の原発は、わが家から、15km圏内にあります。
② 地震時は何もできませんでした。会議中で、神戸と違っていきなりドスンではなくて、だんだん強くなり、テーブルは持っていられるし、しゃがみこむことで精一杯でありました。

③ わが家では、家内が神戸の経験から、すぐに風呂、バケツ等に水を汲んでいました。(直後は、まだ水道水が出ている。)

④ 停電・断水さらにガソリン不足で生活がマヒ状態。近所の方から井戸水を頂き助かりました。幸いガソリン以外は、4～5日で回復しました。

⑤ 当然、携帯はつながらず電話は不通となりました。(ダイヤル式は大丈夫だそうです) 公衆電話は行列ができます。(用件は、必要最小限に) 警察署内の公衆電話は空いていました。

3～4日で、落ち着きを取り戻します。(逆にわがままも出始めるが)、まずは慌てずに、落ち着いた対応が大事だと思われれます。

〔神戸・淡路大震災〕

① 電車が不通のため10キロ以上歩きましたが、途中自動車販売店等が休憩所として開放、提供してくれていて助かりました。

② 道は、でこぼこで、キャリアカーも思うように動かせず苦戦。ヘルメットにリュックを背負い、クツは底の厚いものをお勧めします。
③ 避難所と食料備蓄は同一場所に。(避難所の小学校に備蓄食糧が届かない)

④ 缶詰は缶きり不要のタイプがよく、乾パンは、お年寄りには硬い食べものようでした。
⑤ 塀の多くは、ブロックから植木に

被災地の一日も早い、復興を願っております。

関東に進学、就職される卒業生の皆さん東京支部では皆様の入会を心から歓迎いたします。最後に、桑名高校同窓会会員皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

【関西支部】

雑感

支部長

鈴木英雄

(桑高三回生)



桑名高校65回卒業生の皆さん、晴のご卒業おめでとうございます。

桑名高校創立百周年の記念行事から記念誌発刊、一昨年の東日本大震災、今年早々のアルジェリア人質事件と、長いようで短かい在学三年間の喜怒哀楽は、何時か将来屹度深い記憶として残る事と思われます。

一昨年のことですが桑高同窓会六部会の内、県女、市女、桑中の三部会が退会し桑中は同時に解散したとのこと、又当支部でも十年程前から大先輩参加の減少を感じていました。大先輩には支部創立以来ご指導、ご協力賜りました事を深く感謝し厚く御礼申し上げます。

3回生の私達も遂に80代が到来しました。毎年開催した東京三桑会(同期会)も昨年解散しました。振り返ってみれば10代の思春期、20代にはいり成人の暮しが広がります。結婚など始まって、30代には子供の誕生等で家族生活が忙しく、40代では子供の学校や親の老後が気にかかり、50代は自分の老後のこと、60代ともなれば親の世話や自分の今後も心配で、70代には訪れて来た自分自身の老いとのつき合いにまごつき孫の成長と反対に自分の物忘れが気になり、そして愈々80代が到来するあたりとは残された貴重な時間に生命の大切さを感じ乍ら過すのみです。

学校を巣立ち糸偏時代を過ぎたが、同窓会を立派な織布にたとえて経糸(先輩後輩)と緯糸(同輩)で長く繋がるものと思つたのは誤りで、数十年も過ぎれば経緯がほころび、頑丈な織布も時と共に変わるのが真実です。平成元年に関西支部桑名丸が出航し、総会等14の港に立寄り、総乗船者964名其内21回生以後の方は僅か19名でした。寄る年波に勝つにはこれからは若い船長先導による若者の乗船者を募るしかありません。皆様のご参加を心からお待ちしております。最後に桑高同窓会の益々のご発展と会員皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

支部だより

【東京支部】

東京支部事務局長

秋岡真理子

〈経過報告〉

平成24年

一月十四日

幹事会

五月十二日

中央区人形町区民館

八月二十五日

中央区人形町区民館

十月二十日

中央区人形町区民館

十月二十七日

同窓会幹事総会

十一月十八日

桑名シティホテル

千代田区・東海大学校友会館

第8回総会

〈役員選出〉

顧問

鶴飼 史郎 (桑高2)

〃

松本 範義 (桑高2)

〃

津田 勝 (桑高7)

〃

渡辺 稔二 (桑高23)

支部長

綿引 和彦 (桑高22)

〃

事務局長

秋岡真理子 (桑高22)

〃

会計監査

沖見 忍太 (桑高12)

〃

幹事

矢崎 泰子 (桑高3)

〃

伊藤 勝 (桑高16)

〃

渡辺ひろ美 (桑高22)

〃

稲垣 高宏 (桑高28)

〃

山本 元美 (桑高23)



【関西支部】

関西支部事務局長

杉本 芳昭

関西支部第七回総会報告

第七回関西支部総会が平成二十四年十月二十八日大阪城を眼下に見下すKKRホテル大阪に於て三十一名の皆様参加の中、盛大に開催されました。当日は渡辺校長、西羽会長、森田副会長と三役のご臨席を賜わり会を盛り上げて頂きました。深く御礼申し上げます。総会では次の皆さんが役員に選出されました。

尚、事務局新任として総務担当 木村陽一氏(23回卒)、会計担当

萱野剛士氏(35回卒)、フレッシュな二人が加わりました。今後共よろしくお願い申し上げます。

(役員構成)

- 支部長 鈴木 英雄 (桑高3)
- 副支部長 山本 忠彦 (桑中22)
- 事務局長 杉本 芳昭 (桑高10)
- 監査役 水谷 久男 (桑高2)
- 顧問 奥岡 俊彦 (桑高3)
- 顧問 宇賀 芳樹 (桑中21)
- 幹事 内山 良行 (桑高3)
- 幹事 高山 卓三 (桑高3)
- 幹事 森田 章造 (桑中18)
- 幹事 井出 道子 (県女33)
- 幹事 下野 廣子 (県女36)
- 幹事 片島千勢子 (県女37)
- 幹事 蔵城 よし (実女5)
- 幹事 倉田 幸子 (市女4)
- 幹事 内山 良行 (桑高2)
- 幹事 鈴木 英雄 (桑高3)
- 幹事 北川 和子 (桑高3)
- 幹事 杉本 芳昭 (桑高10)
- 幹事 竹内 栄太 (桑高10)
- 幹事 千葉 俊胤 (桑高10)
- 幹事 松尾 幸男 (桑高10)
- 幹事 倉本 幹子 (桑高10)
- 幹事 西川 典子 (桑高10)
- 幹事 松岡 章子 (桑高10)
- 幹事 山下 茂 (桑高11)
- 幹事 蛭川 正親 (桑高12)
- 幹事 石垣 栄蔵 (桑高13)
- 幹事 堀 治 (桑定4)
- 事務局 杉本 芳昭 (桑中10)

総務 木村 陽一 (桑高23)

會計 萱野 剛士 (桑高35)

書記 松岡 章子 (桑高10)

【事務局所在地】

〒六五七-〇〇六四
 神戸市灘区山田町一丁目一十八
 杉本 芳昭
 (〇七八-八二二-三二二九)

追記

第八回関西支部総会を来る平成二十六年十月に開催する事になりました。若者の参加大歓迎です。事務局一同お待ちしております。



桑高同窓会ウェブサイトのご案内

同窓会情報・住所変更等のご連絡は同窓会公式ホームページまでお願いします。

三重県立

桑名高等学校同窓会オフィシャルサイト

<http://kuwakoob.com>

facebook に三重県立桑名高等学校同窓会のオフィシャルページを開設しました。情報交換の場に、お役立てください。

桑名高校同窓会

<https://www.facebook.com/kuwakoob>



体育祭



桑高祭



スポーツ大会



定時制卒業式



定時制修学旅行



主要大学の合格状況(全日制)

大学名	入試年度					大学名	入試年度				
	2008	2009	2010	2011	2012		2008	2009	2010	2011	2012
北海道大	2	2	2	1	0	青山学院大	3	3	3	5	1
東北大	0	0	0	0	0	中央大	6	13	10	6	4
筑波大	1	1	0	0	1	法政大	15	10	11	11	6
千葉大	2	0	1	1	0	上智大	3	3	0	0	1
一橋大	0	0	0	1	1	慶應義塾大	8	2	5	9	4
東京大	1	1	2	1	1	明治大	9	6	12	10	4
東京外国語大	0	0	0	0	0	日本大	10	5	4	7	5
東京工業大	0	1	0	1	1	立教大	0	0	3	1	0
お茶の水大	0	1	0	0	0	東京理科大	11	15	12	11	12
東京農工大	0	0	0	0	0	早稲田大	10	9	10	10	7
横浜国立大	0	1	0	3	1	愛知大	44	29	21	36	46
富山大	0	2	2	0	1	愛知学院大	13	15	5	14	11
金沢大	8	5	5	5	7	愛知工業大	11	21	10	9	35
信州大	7	7	6	7	3	愛知淑徳大	24	39	43	63	62
山梨大	1	0	1	2	1	金城学院大	17	30	14	20	25
静岡大	4	5	11	8	6	椋山女学園大	19	33	30	27	23
岐阜大	5	1	6	2	4	中京大	66	103	94	128	154
愛知教育大	10	6	9	4	5	名城大	89	11	78	96	110
名古屋大	14	17	10	19	21	南山大	105	121	101	151	120
名古屋工業大	13	12	11	13	17	皇學館大	18	8	16	13	7
三重大	28	33	32	66	31	同志社大	38	36	24	22	36
京都大	2	2	3	6	1	立命館大	70	74	58	98	80
大阪大	5	1	3	2	2	関西大	33	28	27	14	16
神戸大	4	0	2	2	2	関西学院大	17	18	17	9	8
奈良女子大	2	0	1	0	2	その他の私立大	227	206	179	228	236
岡山大	2	0	0	0	0	私立大合計	866	938	787	998	1013
広島大	0	0	0	1	1	三重短大	5	8	5	5	3
その他の国立大学	22	13	14	14	15	その他の国公立短	2	0	0	1	0
国立大学合計	133	111	121	159	124	国公立短合計	7	8	5	6	3
高崎経済大	1	4	1	0	0	名古屋女子大短大	4	2	0	0	4
首都大学東京大	3	1	0	1	0	南山短大	2	0	2	0	2
都留文科大	4	0	0	1	1	名古屋短大	2	6	4	0	2
静岡県立大	1	0	1	0	0	その他の私立短大	2	5	1	1	0
愛知県立大	4	10	3	5	4	私立短大合計	10	13	7	1	8
名古屋市立大	7	8	8	12	9						
岐阜薬科大	0	1	1	1	1						
大阪府立大	4	2	2	1	2						
その他の公立大	13	10	10	8	14						
公立大合計	37	36	26	29	31						
国公立大学合計	170	147	147	188	155						

平成24年度卒業生 同窓会クラス代表幹事

【全日制】

学年代表幹事	普通科9組	磯貝 竜一		
普通科代表幹事	普通科1組	川瀬 孝則		
理数科代表幹事	理数科9組	岩原 知加		
1組 普通科	川瀬 孝則	堀 琴美		
2組 普通科	井上 里奈	梅山 太豪		
3組 普通科	伊藤 麻由	矢野 優果		
4組 普通科	高山 航輝	土井 崇嗣		
5組 普通科	堀内 みゆ	山本 優		
6組 普通科	杉野 友哉	松田 瞬		
7組 普通科	北岡 大貴	澤田 啓介		
8組 普通科	葛巻 星	奈良 賢治		
9組 理数科	磯貝 竜一	岩原 知加		

【衛生看護科】

学年代表幹事 ◎大石 那奈 伊藤 伶華

【衛生看護専攻科】

学年代表幹事 ◎岡 舞奈 長谷川真希

【定時制】

学年代表幹事 ◎久野今日子 新家竜之助



平成25年度 桑名高校同窓会役員

会 長	西羽 晃(桑全 7回生)
副 会 長	森田好博(桑全 9回生)
	加藤武夫(桑定1 1回生)
	岡野良子(桑看 7回生)
理 事	上田広吉(桑全 1回生)
	渡辺 醇(桑全1 3回生)
	山口典久(桑全1 3回生)
	加賀 修(桑全1 5回生)
	今村和子(桑全1 5回生)
	森 一蔵(桑全1 6回生)
	岡田順二(桑全1 8回生)
	竹山延幸(桑全2 0回生)
	福田正道(桑全2 1回生)
	加藤 寛(桑全2 2回生)
	西村治生(桑全2 3回生)
	長瀬 浩(桑全2 4回生)
	水谷康朗(桑全3 0回生)
	蘭目 博(桑定1 0回生)
	伊藤英明(桑定1 2回生)
	上田 泉(桑看1 0回生)
	廣田千秋(桑看1 2回生)
会計監事	辻内倫夫(桑全1 4回生)
	水谷宗嗣(桑全2 1回生)
	萱野治道(桑全2 6回生)



『桑高百年』

「三重県立桑名高等学校創立百年記念誌」がこのほど刊行されました。

A4版約700頁(うち口絵32頁)ご希望の方は下記へ、お振込み下さい。

「ゆうちょ銀行」

◎振替口座番号：00890・4・87537

◎加入者名：桑名高校同窓会

◎金額：8000円(送料・消費税共)

桑名高校同窓会 平成23年度事業及び会計報告

平成23年度 事業報告

(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

平成23年9月3日(土)

桑名高校同窓会百周年実行委員会記念事業部会
桑名シティホテル

平成23年9月23日(金)

桑名高校同窓会運営委員会
くわなメディアライブ

平成23年11月20日(日)

桑名高校同窓会運営委員会 桑名市民会館

平成23年12月11日(日)

桑名高校同窓会幹事総会 桑名シティホテル

平成24年1月21日(土)

桑名高校同窓会役員会 桑名シティホテル

平成24年2月29日(水)

桑名高校同窓会入会式 桑名高校

平成24年3月1日(木)

会報「桑高同窓会」No.30号発行

平成24年4月6日(金)

桑名高校同窓会役員会 桑名市民会館けやき

平成24年5月19日(土)

桑名高校同窓会運営委員会 桑名市民会館

平成24年5月19日(土)

桑名高校学校長及び管理職との懇親会
柿安本店

創立百周年記念事業会計中間報告

(平成24年7月31日現在)

収入の部		支出の部		
科目	金額	科目	金額	
記念募金	38,112,585円	記念事業費	14,636,536円	
記念祝賀会(同窓会)	4,500,000円	内訳	記念誌	7,128,903円
記念誌(1冊8,000円)	1,492,000円		部活動助成金	4,825,518円
雑収入(受取利息)	863円		桑高百年展	298,490円
			記念メニュー	42,840円
			その他の事業費(卒業生作品展ほか)	2,340,785円
		記念祝賀会	6,553,643円	
		記念募金及び同窓会案内	5,219,223円	
		名簿整理費	308,133円	
		募金等振込手数料	299,060円	
		事務費	220,956円	
合計	44,105,448円	合計	27,237,551円	
	差引	残高	16,867,897円	

平成23年度 会計報告

(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

	科目	予算	決算	増減
収入の部	入会金	2,050,000円	2,030,000円	-20,000円
	会費	550,000円	489,000円	-61,000円
	受取利息	3,000円	2,732円	-268円
	雑収入	60,000円	261,024円	201,024円
	前期繰越金	14,325,977円	14,325,977円	0円
	合計	16,988,977円	17,108,733円	119,756円
支出の部	総会費	500,000円	588,993円	88,993円
	会議費	200,000円	322,356円	122,356円
	印刷費	1,100,000円	486,657円	-613,343円
	通信費	350,000円	356,658円	6,658円
	慶弔費	200,000円	0円	-200,000円
	支部助成金	100,000円	100,000円	0円
	卒業記念品	350,000円	318,300円	-31,700円
	交通費	100,000円	10,000円	-90,000円
	名簿管理費	150,000円	57,750円	-92,250円
	雑費	200,000円	104,824円	-95,176円
	支出合計	3,250,000円	2,345,538円	-904,462円
	予備費	13,738,977円		
	合計	16,988,977円	2,345,538円	
	次期繰越金		14,763,195円	

財産目録

(平成24年7月31日現在)

資産の部	現金	金額	金額
	現金	150円	150円
	定期預金	桑名信用金庫	7,020,261円
	普通預金	桑名信用金庫	4,946,750円
		ゆうちょ銀行	2,659,594円
	立替金	百周年記念実行委員会	136,440円
	資産合計		14,763,195円
負債の部	負債合計		0円
	差引純財産		14,763,195円

24年度同窓会幹事総会

24年度 桑名高校同窓会幹事総会



会長挨拶



会場飾り付け



受付風景



13回生の皆様



御来賓の皆様

24年度 桑名高校同窓会



MCの言葉は若手代表



学年代表の皆様



記念講演
講師 岩下有司先輩

同窓会のあゆみ

明治42年1月29日	桑名郡立高等女学校設立の建議	平成7年10月15日	幹事総会(於)桑名シティホテル
43年4月5日	桑名郡立高等女学校第1回入学式	11月12日	第3回関西支部総会(なにわ会館)
大正10年4月	桑名町立裁縫女学校開校	8年1月9日	増地克之氏柔道優勝記念碑寄贈
11年4月1日	郡立高女は三重県立桑名高等女学校となる	6月22日	定時制45回記念総会
12年4月5日	三重県桑名中学校(桑名町立)第1回入学式	11月17日	幹事総会(於)桑名シティホテル
13年4月29日	桑名町立裁縫女学校を廃止し、桑名実業女学校開校	23日	第4回東京支部総会(渋谷東急ゴールデンホール)
15年4月1日	三重県桑名中学校は三重県立桑名中学校となる	9年11月9日	幹事総会(於)桑名シティホテル
昭和10年7月1日	桑名実業女学校は桑名町立青年学校女子部となる	10年5月13日	県女創立90周年記念総会
12年4月1日	桑名町立青年学校女子部は桑名市立となる	11月1日	90周年記念総会(於)長島温泉ホテル「花水木」
13年4月1日	桑名市立青年学校女子部は桑名市立実科高等女学校となる	11年10月2日	幹事総会(於)桑名シティホテル
18年4月1日	市立実科高等女学校は桑名市立高等女学校となる	11月14日	関西支部創立10周年第4回総会(於)舞子ピラ
23年5月12日	桑中・県女・市女が統合。三重県桑名高等学校として発足	12年4月10日	市女創立80周年記念同窓会
8月1日	定時制課程併置	11月12日	幹事総会(於)桑名シティホテル
28年1月11日	桑中・県女・市女・桑高各同窓会が統合 三重県桑名高等学校同窓会を結成	11月25日	第5回東京支部総会(於)渋谷東急ホテル
30年4月1日	三重県立桑名高等学校と改名する	13年6月10日	定時制創立50周年記念同窓会 (於)桑名シティホテル
43年11月24日	桑高創立20周年記念総会開催	11月18日	幹事総会(於)桑名シティホテル
49年4月1日	衛生看護分校設置	14年4月1日	衛生看護分校が5年一貫教育を開始
52年4月1日	衛生看護分校に衛生看護専攻科設置	11月23日	幹事総会(於)桑名シティホテル
53年10月10日	桑高創立30周年記念総会(於)市民会館	15年5月15日	県女創立95周年記念総会
54年11月3日	県女創立70周年記念総会	10月25日	創立95周年記念総会(於)桑名平安閣
55年8月10日	体育館緞帳寄贈記念総会	10月31日	衛生看護創立30周年講演
58年5月8日	桑高創立35周年記念総会(於)諸戸邸・市民会館	11月8日	関西支部第5回総会
10月	東洋ペアリング桑名桑洋会結成	16年10月10日	幹事総会(於)桑名シティホテル
59年11月11日	東京支部結成	11月28日	第6回東京支部総会
12月9日	幹事総会(於)桑名シティホテル	17年10月15日	定時制幹事総会(於)桑名シティホテル
60年3月16日	市女創立60周年記念総会(於)桑名シティホテル	10月29日	幹事総会(於)桑名シティホテル
4月25日	県女創立75周年記念総会(於)桑名シティホテル	18年6月25日	定時制創立55周年総会
61年12月7日	幹事総会(於)中日パレス	10月22日	幹事総会(於)桑名シティホテル
62年9月20日	幹事総会一桑名市長を囲む会(於)桑名シティホテル	19年9月25日	桑名高校創立百周年記念事業実行委員会設置 (於)桑名高校
63年3月17日	芸術館竣工にともない陶芸電気窯寄贈	10月14日	幹事総会(於)桑名シティホテル
9月5日	「会員名簿」を発行	20年5月15日	県女創立百周年記念同窓会(於)桑名シティホテル
10月30日	40周年・会員名簿発行記念総会 (於)長島温泉ホテル「花水木」	10月19日	関西支部20周年記念第6回総会
11月13日	東京支部総会(アラスカ)	10月26日	幹事総会(於)桑名シティホテル
平成元年11月23日	桑高同窓会関西支部結成	11月16日	東京支部25周年記念第7回総会
12月3日	幹事総会(於)桑名シティホテル	21年10月10日	創立百周年記念式典(於)桑名市民会館
2年4月13日	県女創立80周年記念総会	10月11日	創立百周年記念総会 (於)長島温泉ホテル「花水木」
8月19日	幹事総会(於)名古屋都ホテル	22年7月25日	創立百周年卒業生作品展
3年8月25日	幹事総会(於)桑名シティホテル	~8月9日	(於)桑名市民会館
10月27日	定時制40回記念総会	8月4日	桑名百年展
4年8月9日	桑中創立70周年記念総会	~8月8日	(於)桑名市博物館
9月20日	幹事総会(於)桑名シティホテル	9月	創立百周年記念誌「桑高百年」刊行
11月1日	第2回関西支部総会	11月21日	幹事総会(於)桑名シティホテル
11月8日	第3回東京支部総会	23年7月3日	桑名高校定時制創立60周年記念総会 (於)桑名シティホテル
5年5月27日	県女創立85周年記念総会	7月1日	桑名高校定時制創立60周年記念同窓生文化祭
10月24日	85周年記念総会「県女創立の地」記念碑建立 (於)長島温泉ホテル「花水木」 分校築庭寄贈 体育館舞台幕一式、視聴覚室暗幕一式贈呈 会員名簿発行	~7月3日	(於)くわなメディアライヴ
6年11月27日	幹事総会(於)桑名シティホテル	9月20日	桑名中学校同窓会幹事総会(解散総会) (於)桑名シティホテル
		12月11日	桑名高校同窓会総会(於)桑名シティホテル
		24年10月27日	幹事総会(於)桑名シティホテル